

- イ. 「熱帯域における微気象と大気汚染に関する国際シンポジウム」後援。昭和63年2月, ニューデリー, インド気象学会主催。
- ウ. 国際学術研究会参加の補助
募集を年2回行う。
- エ. 募 金
事業及び基金を充実するため, 会員及び団体からの募金を行う。
- (5) 1993年国際気象学・大気物理学協会 (IAMAP) 総会に立候補する。
予定: 1993年8月, 東京
- (6) 文部省学術用語集気象学編増訂版の出版
昭和62年5月
- (7) 堀内剛二会員からの寄付
堀内剛二会員の寄付金を大気科学の研究を奨励する目的に活用する。
- (8) 日本学術会議第14期会員の推薦
日本学術会議から示された手続き日程に従って, 日本気象学会の会員候補者及び推薦人を選出する。
- (9) 事務局
パソコンを利用して, 会員の異動・会費納入状況

などの管理を行うよう, ソフトウェアとデータベースの整備に努め, 事務局体制の一層の充実をはかる。

12. 昭和62年度予算(案)の審議

土屋会計担当理事から資料にもとづき, 事業計画に沿った予算(案)の説明があった。

議長から昭和62年度事業計画案, 予算案の2件について質問, 意見等の発言を求めた。

質問: 専務理事などの, 気象学にビジョンをもった専従職員をおく方向で予算など考えてほしい。

回答: 理事会としても事務局体制の強化の必要性を痛感している。ご意見を参考として今後検討していきたい。

議長から昭和62年度事業計画案, 予算案の2件につき承認を求めたところ, 多数により承認された。

13. 議長解任

議長より会員の協力により, 無事議長の務めを果たすことができたことに謝意を表す, との議長解任の挨拶があった。

14. 閉会の辞

以上をもって昭和62年度社団法人日本気象学会総会が終了した。

〓〓〓支部だより〓〓〓

北海道支部創立30周年記念行事の報告

日本気象学会北海道支部

昭和32年6月に日本気象学会北海道支部が創立され, 今年でちょうど30年を迎えました。

昭和62年6月10日に北海道大学学術交流会館において昭和62年度第1回支部研究発表会, 支部総会を行い, 続いて支部創立30周年記念行事を開催しました。

秋山勉支部長挨拶の後, 若濱五郎日本雪氷学会北海道支部長と堀口郁夫日本農業気象学会北海道支部長から祝辞を頂き, 山元龍三郎日本気象学会理事長および菊池幸

雄気象庁官からの祝電が披露されました。続いて支部活動に功績のあった斉藤博英会員と札幌市青少年科学館を表彰しました。そのあと北海道大学理学部菊地勝弘教授(演題: 北大理学部気象学研究室の30年)および大川隆室蘭地方気象台長(演題: 特異現象解明への30年)の記念講演が行われ, 終了後, 北大百年記念会館で祝賀会を開催し盛会のうちに終了しました。